

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320228	XZY1320228	1	後期	国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	1年
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
中国語 1 bA	佐藤 若菜			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×		
授業目的							
発音・声調・ピンイン・文の構造等、中国語の基礎的なしくみを理解する。基本的な会話と読解の能力を身につける。高度な語学運用能力の基礎を築きます。							
各回毎の授業内容							
第1回 【授】第一課 声調、母音。第二課 前鼻音と後鼻音 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。				第9回 【授】第九課 指示代詞、文末付加型疑問文、“吧”の用法 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。			
第2回 【授】第二課、第三課 子音 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。				第10回 【授】第十課 復習（基本構文、疑問文の種類） 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。			
第3回 【授】第四課 中国語特有のルール 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。				第11回 【授】筆記試験、リスニング試験、口頭試験 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。ここまでの総復習を行う。予習復習に4時間。			
第4回 【授】口頭試験、リスニング試験、筆記試験 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。ここまでの総復習を行う。予習復習に4時間。				第12回 【授】第十一課 所有を表す“有”、助動詞“可以”、“太～了” 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。			
第5回 【授】第五課 “是”の用法（基本語順、疑問文、否定文）、人称代名詞 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。				第13回 【授】第十二課 存在を表す“有”、量詞、“的”が省略できる場合、動詞の重ね型 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。			
第6回 【授】第六課 形容詞述語文、主述述語文 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。				第14回 【授】口頭試験、筆記試験、リスニング試験 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。ここまでの総復習を行う。予習復習に4時間。			
第7回 【授】第七課 “的”の用法、“呢”を使った疑問文、二重目的語 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。				第15回 【授】口頭発表 【前・後】これまで習った文法や単語を用いて、中国語で自己紹介文を書く。予習復習に4時間。			
第8回 【授】第八課 選択疑問文、“多少”と“几”の疑問文、場所を表す指示代名詞 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。				第16回 【授】レポート 【前・後】口頭発表に対するアドバイスを踏まえて、自己紹介文を完成させる。予習復習に4時間。			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							60
宿題・授業外レポート							20
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							20
演習							
その他							
口頭試験、リスニング試験、筆記試験、口頭発表とレポートにより評価する。試験を採点して返却し、解説を行う。また、口頭発表を採点して、改善点を指導する。							
教科書参考書							
『理香と王麗-話す中国語 1-』（董燕・遠藤光暁、朝日出版社）							
受講に当たっての留意事項							
中日辞典（紙媒体ないし電子辞書）を必ず持参すること。							
学習到達目標							
中国語を話す、聴く、書く、読むの基本的な4つの力が身につく。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習